



# WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.55 June 10, 2016

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
  2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
  3. ジョークは簡潔が至上です。



## 第 55 回研究発表会

### 科学技術の進歩にまつわるエピソード その 5

服部 陽一

#### 6. 近代

##### 1. エンジニア、事業家達の活躍—産業革命への躍進—

##### 月光協会（ルナ・ソサイエティ）1765～

毎月満月の夜に異分野の人々が集まる。各メンバーの自宅を順番に集会所にする。専門外の研究発表、議論、雑談を楽しむ。



ルナソサイエティの記念メダル

**エラズマス・ダーウィン** 創設者、医師、進化説

**ジョセフ・プリーストリ** 化学、酸素の発見

**ジェームズ・ワット** 蒸気機関

**マシュー・ボルトン** 事業家

**ウィリアム・マードック** ガス灯

**ジョサイア・ウェッジウッド** 陶器、事業家

**ウィリアム・ハーシェル卿** 天文学（ドイツから帰化）

**アントワーヌ・ラヴォアジエ** 化学の父（フランス）

**ベンジャミン・フランクリン** 政治家、科学者（アメリカ）

精神が解放され、新しい着想が生まれる。

—学際的討論の重要性を実証。世界で最も知的な研究結社—

#### <ロータリークラブ>

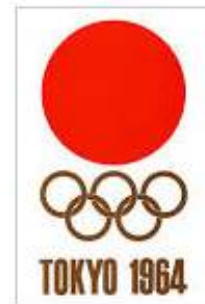
メンバー：同一地区から同一分野で一人

会場：毎回場所を変えながら巡回。

#### THE MOON AND THE SUN



ロンドンオリンピックを祝う月  
(Another Ring Presented For...)



東京オリンピック（1964年）のポスター

QUOTES & JOKES

\* Three things cannot be long hidden : the sun, the moon, and the truth.

— Gautama Siddhartha

\* I don't know if there are men on the moon, but if there are they must be using the earth as their lunatic asylum.

—George Bernard Shaw

バーナード・ショウは、「地球に住んでいる少しおかしい人間は、月の精神病院としての地球に、月から来た奴らだ」と言っていたとか…。

\* What holds the moon up? Moonbeams. moonbeam: (一条の)月の光。beamには「梁」や「横材」の意味もある。

\* What do you call a watch keeping bad time on the moon? A lunatick.

\* A new restaurant was just opened on the moon. The food is good enough but the atmosphere is terrible.

\* A guy was going home from a pub feeling a little tipsy, asked a man getting out the same pub: “Sir, could you tell me what is that shining thing in the sky. Is that the moon or the sun?” The man looked up to the sky and then replied: “Sorry, I don't live around here.”

\* A young lady was discussing the various aspects and possible outcome of the insurance with the clerk of the agency. She asked: “Suppose I take the life insurance for my husband today for a million dollars and tomorrow he died, what will I get?” The clerk replied solemnly “A .... !” A: life sentence.

2. エラズマス・ダーウィン 1731-1802

ノッティンガム生、ケンブリッジ大学(中退)、エジンバラ大学校卒(医学部)。

イギリスの名医、科学者、博物学者、発明家、詩人、ウィットに富む纏め役。



進化説、スコットランド人の才能を高く評価、農業とガーデニングの推奨

—産業革命の推進を担った役割は多大—

**発明のアイデア**：電話、複写機、水洗トイレ、蒸気タービン、内燃機関、発話機械、運河建設計画とリフト、風車の改良。

水平型風車：ウェッジウッドの陶器工場で13年間稼働。

**科学的考察**：雲の形成、生物の進化、植物の栄養摂取と光合成過程の分析。

『植物の園』 1791～1793



左から『農業とガーデニング』『ゾーノミア』『生物進化の木』

ワーズワース、コールリッジ、シェリー夫妻、キーツなどに多大な影響を与えた。

「彼はヨーロッパ随一の文芸的人物だ」

—コールリッジ

『ゾーノミア』 1794～1797

生物の進化：ラマルクの進化説以前に提示(共通点多数あり)。「生命は海中にて発生し、徐々に進化して人間を生じた…」

**社会的活動**：反奴隷制キャンペーン、女性解放と女子教育の改革。

### 3. ジョサイア・ウェッジウッド 1730～1795

スタフォードシャー生、陶芸家、事業家、ウェッジウッド社創設。

イギリス陶芸の父、高温測定計(バイロメータ)の発明、奴隷解放論者。



陶芸職人の末子(第13子)、9歳から陶芸。11歳のとき天然痘に罹り右足が不自由に。陶芸研究に没頭。

ウェッジウッド社を設立(1759)、硬質陶器クリームウェアを完成させる。国王ジョージ三世、シャーロット王妃の称賛を呼び、王室御用達の陶工に、「クィーンズウェア」と命名することを許される。



ローズゴールド

ジャスパーウェアを完成(1774)、磁器に近いストーンウェアを下地にし、4年の研究を重ねて完成。



工芸品と近代工業製品双方の要素を持ちあわせ、ウェッジウッド社の象徴、主力製品となる。

ポートルランドの壺の再生に成功(1790)。



左：オリジナル

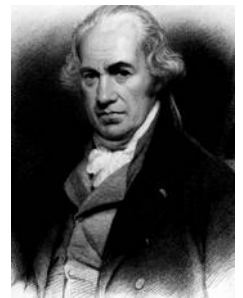
右：ウェッジウッド社の再生品



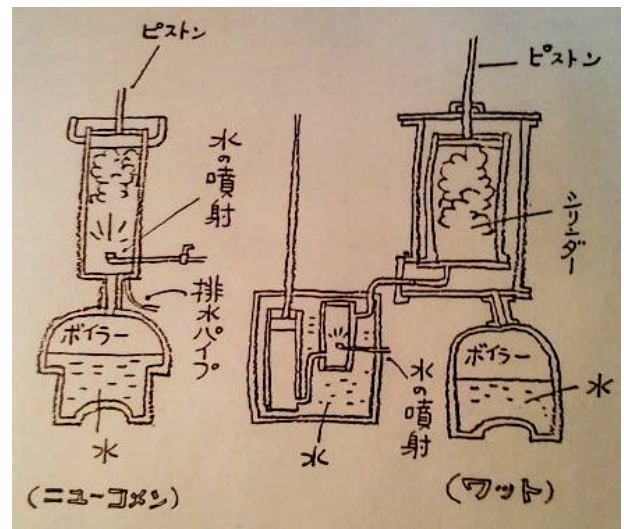
息子のジョサイア・ウェッジウッド二世がファインボーンチャイナを開発。娘のスザンヌはエラズマス・ダーウィンの息子ロバートと結婚し、チャールズ・ダーウィンを生む(ジョサイアは母方祖父)。チャールズ・ダーウィンの妻はウェッジウッド二世の娘。

### 4. ジェームズ・ワット 1737～1819

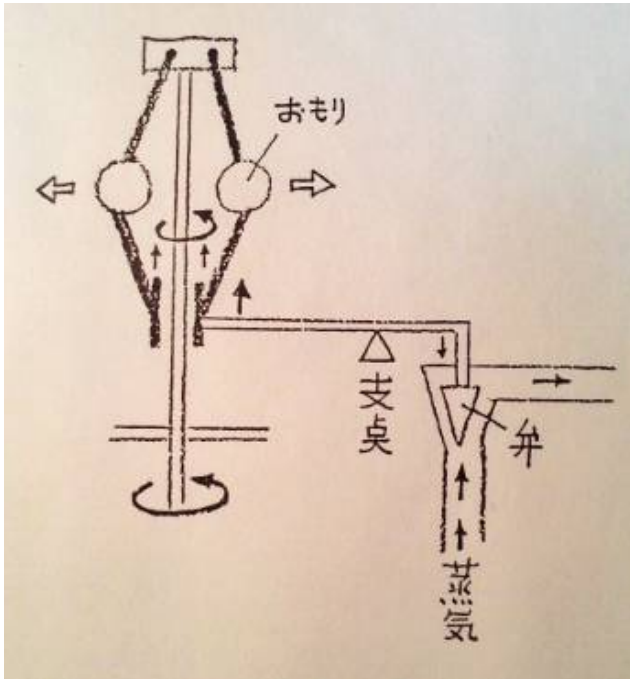
スコットランド・レンフルシャー生、船大工で商人の子。優れたエンジニア、発明家、事業家。歴史的に重要な発明 229 件のランク付け：1位(トーマス・エジソンと並ぶ)。動力の単位(馬力)の定義、国際単位系の仕事率単位：ワット。



ロンドンの計測器技術専門学校卒業後、グラスゴーへ、就職口なし。グラスゴー大学の天文学機器を調整、ジョゼフ・ブラック、アダム・スミス両教授の推挙で大学内に工房をもらう。



ニューコメンの蒸気機関を改良。スコットランドの野原を散歩中に閃く。エンジニアならではの着想→シリンダの冷却を別室で行う。機関動作の効率が飛躍的に向上。



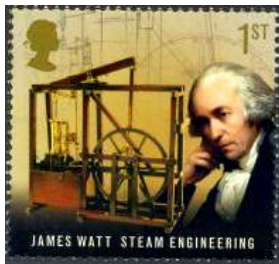
蒸気の量を調整する自動制御装置

**ボルトン・ワット商会の設立** マシュー・ボルトンと新会社を創設。ウィリアム・マードックが参加。ピストン運動を回転運動に、自動制御装置を工夫。

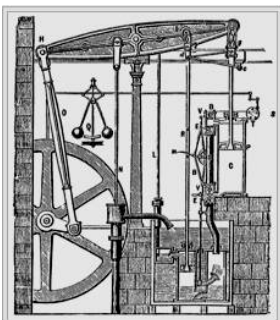
ボルトン：事業企画と開発提案

ワット：システム設計

マードック：エンジニアリング



ワットの記念切手



蒸気機関図面 (1784)



ドイツで製作された蒸気機関 (1848)

ウィリアム・マードック 1754-1839



スコットランドのエアシャイア生。

ガス灯、遊星歯車、D型弁 蒸気動力ロードスター等の発明。

エアシャイアからバーミンガムまで歩いてワット、ボルトンに会いに来る。その時かぶっていた木製の帽子に感動し、ボルトンが採用。王立協会よりランフォードメダルを授与される。

＜大英帝国の GDP を拡大し、産業革命を推進する原動力に＞



ガス灯 (ランプ部分)



街頭を照らすガス灯



←遊星歯車機構



ワット、ボルトマン、マードックの記念像 (バーミンガム)

QUOTES & JOKES

\* A lie can run around the world before the truth can get it's boots on.

\* They kill good trees to put out bad newspapers.

多くの木を切って紙を造り、下らない記事を書いた新聞を大量に刷っている。政府と新聞社を皮肉っている。ワットは新聞が嫌いだったらしい。

\* We don't have to protect environment, the Second Coming is at hand.

The Second Coming : (キリストの) 再臨

\* I have a black, a woman, two Jews and a cripple. And we have talent.

— James Watt

\* I sell here, Sir, what all the world desire to have—POWER. About the improved steam engine invented by James Watt and brought into production at Boulton's manufactory.

—Matthew Boulton

POWER (動力) とは何か、それを売って商売になるということはどういうことなのか、当時の上流階級 (貴族) の人々は理解できなかったようです。いつの時代にも、新しいコンセプトの企業を立ち上げるのは難しいことのようにです。

\* True greatness is when your name is like ampere, watt, fourier —when it's spelled with a lower case letter.

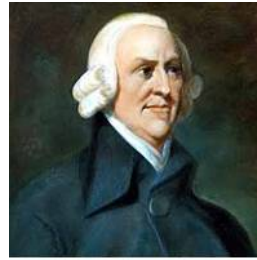
—Richard Hamming

これを言った Richard Hamming は「俺の名前はいつ小文字になって書かれるのかなあ…」 とつぶやいたとか。お亡くなりになった後でしょう。

Notes: lower case letter: (活字の) 小文字。

cf: upper case letter.

4. アダム・スミス 1723~1790



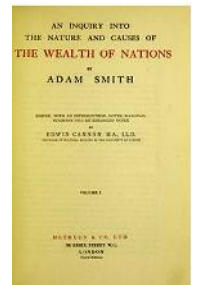
スコットランド・カコーディー生、税関吏の子 (誕生前に父死去、内向的)。オックスフォード大学 (中退)、グラスゴー大学教授 (論理学、道徳哲学)。

ヒューム、ヴォルテール、ケネー等との交流から着想

『道徳情操論』 (The Theory of Moral Sentiments) 1759 人間は他者の視線を意識し、他者から同感を得られるように行動する。これにより「公平な観察者 (impartial spectator)」の視線を意識し、社会の秩序がある程度保たれる。

『諸国民の富の性質と原因の研究』 <国富論> 1776 (An Inquiry of the Nature and Causes of the Wealth of Nations)

生産方式の改善、生産物の分配、資本の性質と用途、都市の発生と農村への貢献、経済主義の体系、通商条約、植民地について、国家の収入と経費。



第1編第1章 分業について

ピンを加工する一連作業を1人で行うとき: 1人当たり1日20本以下。10人の分業で行うとき: 針金を伸ばす、切る、削る、頭をつける...など18の工程に分割する。各工程に専用の道具を用意し、10人で行うと1日48000本、一人当たり4800本を製造することができる。(後にケンブリッジ大学のチャールズ・バベジ教授が実証)

『国富論』 (1922年版)

「市場という神の見えざる手があらゆる企業家、生産者および消費者の活動を最も調和のとれた方向へ導いて下さる…」 <lessez-faire>

**産業革命の推進、資本主義経済の進展に多大な  
貢献。**

「本書は唯一の完成された経済学書であり、これ以降のものはすべてその解説書にすぎない」  
—ジョン・メイナード・ケインズ

**QUOTES & JOKES**

\* No society can surely be flourishing and happy, of which the far greater part of the members are poor and miserable.

\* What can be added to the happiness of a man who is in health, out of debt, and has a clear conscience.  
本会のメンバーはまさしくこの幸せを享受しているのではないのでしょうか。

\* No complaint...is more common than that of a scarcity of money.

\* Adventure upon all the tickets in the lottery, and you lose for certain; and the greater number of your tickets the nearer your approach to this certainty.

宝くじは買えば買うほど損をするのは確実ということ。これを読んで、宝くじは大きい番号の方が当たり易いのかと思ひ、大きな番号のものを買い続けた人がいた。

\* The real tragedy of the poor is the poverty of their aspirations.

\* Man is an animal that makes bargains; no other animal does this — one dog does not exchange a bone with another.

人間は取引をする動物。従って流通経済が成立する。これを読んで、確かに犬がバーゲンセールをしたという話は聞いたことがないと言った人がいる。

\* Science is the great antidote to the poison of enthusiasm and superstition.

\* Labour was the first price, the original purchase — money that was paid for all things.

**5. ベンジャミン・フランクリン 1706～  
1790**



ボストン生、学校教育 2 年、兄の印刷工場の徒弟 (12 歳)。印刷される本を読み、文章の書き方を独習。新聞に匿名で投稿)。

著述家、外交官、政治家、科学者、教育者。電気学者、避雷針の発明。自叙伝。米国建国の父。



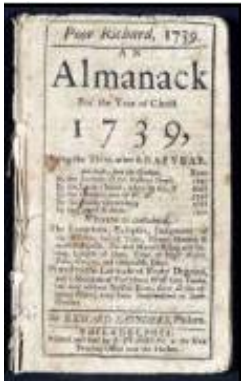
米国 100 ドル紙幣

**保険制度の提案** (1712、16 歳)、世界最初の保険会社設立、「フィラデルフィア火災保険」1736

「保険制度は少数の不幸な人を皆で助けるためのもので、保険会社が大きな利益を出すのはおかしいのです。社会貢献が不足しているということです」

「Poor Richard's Almanac」刊行 1732～

日めくり暦の中に思想、道徳、数学、物理学、天文学、医学などの知識を刷り込む (26 年間継続、同一内容のものなし)。植民地入植者たちへの大きな啓蒙的役割を果たす。



日めくりカレンダー ベンジャミン・ストーブ

**暖房器具の改良** 1740 燃焼効率が飛躍的に向上し、家庭の暖房費が大幅に節約される。ペンシルバニア州総督からの特許付与の申し出を辞退。「全ての真理は人類共有のものです」。

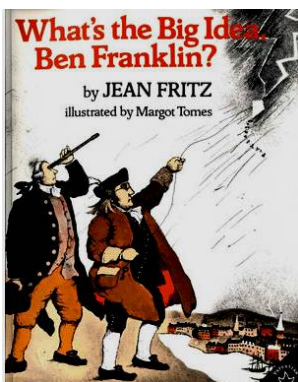
**ペンシルバニア大学創設** 1740～1755

商業・実務教育を目指す初めての University ビジネススクール創始。億万長者数世界第1位（学部卒、2014年現在）。

フィラデルフィア市議会議員、ペンシルバニア州議会議員 1748～、郵政長官、フランス駐在大使、独立宣言起草委員。

**電気の研究** プラス、マイナスの創始。「雲は電気を帯びていて、その放電が雷となる。尖端効果を利用すれば落雷を防止出来るはずだ…」

**フィラデルフィアに避雷針** 1752



雷雲の中にタコを揚げ  
るベンジャミン



教会の塔に設置さ  
れた避雷針

凧の実験により雷雲の電気をライデン瓶にためて電気を確認。避雷針は欧州各国に普及したが、アメリカでは「落雷は神の罰」と信じられていたため、あまり普及しなかった。

**凧の実験**：凧に鉄針をつけ、この針から湿った麻糸で電気を導く。麻糸を指に巻き、体で電気をを感じる。リッヒマン（ロシア）は、実験中に感電死。リスキン（イギリス）は、フランクリンと同じ凧で感電死。

**自叙伝の執筆** 1771～

世界の自叙伝のうちの最高傑作の一つとなる。「私は恒に自己を向上させるため、13のチェックポイントを持ち、毎日これをチェックして手帳に書き込んでいました」（節制、規律、勤勉、決断、正義、中庸、…）

**QUOTES & JOKES**

- \* Time is money.
- \* Honesty is the best policy.
- \* Fatigue is the best pillow.
- \* Hunger is the best pickle.
- \* God helps those who help themselves.
- \* By failing to prepare, you are preparing to fail.
- \* We are all born ignorant, but one must work hard to remain stupid.
- \* Rather go to bed without dinner than rise in debt.  
借金にまみれるよりは、夕食を抜いて寝ろ。go to bed ...rise in debt と韻を踏んでうまいが、これを読んで、夕食を抜けばベッドの中で立たないのかと思ひ、やっぱり朝方には立ったと言っていた人がいた。rise in bed と間違えたらしい。
- \* Be slow in choosing a friend, slower in changing.
- \* Never leave that till tomorrow which you can do today.

\* Either write something worth reading or do something worth writing.

読む価値のあるものを書くか、書く価値のあることをせよ。ベンジャミン・フランクリンは、自叙伝に書くために色々なことをして、偉人になつたらしい。

\* An investment in knowledge pays the best interest.

\* If passion drives you, let reason hold the reins.

激情にかられそうになったら、理性に手綱を渡せ。これを読んで競馬をきっぱりやめた人がいた。

\* Never confuse motion with action.  
行動と動作を混同するな。意味のある行動をせよ。会社にも、ただ動き回って仕事をしているふりをしている人がいる。

\* Whatever is begun in anger ends in shame.

怒りにまかせて始めたことは酷い結末を迎える。夫婦喧嘩などは大抵この通りです。

\* He that is good for making good excuses is seldom good for anything else.  
言い訳の上手い奴は、その他の事はほとんど出来ない。会社にも、言い訳は飛び切りうまいが、プレゼンや営業などをやらせるとまるで駄目なやつが多い。

\* The door step to the temple of wisdom is a knowledge of our own ignorance.

\* Write your injuries in dust, your benefits in marble.

\* It takes many good deeds to build a good reputation, and only one bad one to lose it.

晩年にたった一つの不祥事で、せっかく築きあげた評判を台無しにしてしまう人は少なくないですね。晩節を汚すことないよう、注意が必要です。

\* Without continuing growth and progress, such words like improvement, achievement, and success have no meaning.

会社でも、大型受注に成功した！ 今期の目標を

達成した！ 営業活動が改善された！ と大騒ぎして祝杯などをあげることがあるが、普段の活動が進歩し、事業の成長が持続されなければ意味がありません。

\* Money has never made man happy, nor will it, there is nothing in its nature to produce happiness. The more of it one has the more one wants.

金が入れば入るほど、もっと金がほしくなる。金とはそういうもので、人を幸せにはしない性質のものだそうです。現代の富豪に聞かせたい言葉ですね。

\* He that is the opinion money will do everything may well be suspected for doing everything for money.

金があれば全ての事ができる、と言っている人は、全ての事を金のためにやっている、と思われることが多い。

\* Leisure is the time for doing something useful. This leisure the diligent person will obtain the lazy one never.

レジャーとは有益なことをするための休日のことで、勤勉な人に与えられ、怠け者には与えられないそうです。休日の過ごし方には工夫が必要ですね。

\* How few there are who have courage enough to own their fault, or resolution enough to mend them.

自分の落ち度を認める勇気をもっている人、あるいはそれを改める決意をもっている人の何と少ないことか。この言葉を聞かせたい人がいますね。

\* It is much easier to suppress a first desire than to satisfy these that followed.

最初の欲望を抑える方が、それを満足させた後に続いて起こる欲望を抑えるよりはるかに容易である。最初の誘惑に負け、続いて起こる欲望を抑えられずに問題を起こしている人が大勢います。

\* Bless is he that expects nothing for he shall never be disappointed.

失望させられることはないだろうとは予期していない（失望させられることもあり得ると覚悟している）人は賞賛されるべき人である。ボランティア活動が歓迎されない場合も多々ありますね。



\* I wake up every morning and I grab for the morning paper. Then I look at the obituary page. If my name is not on it, I get up.

これは Benjamin Franklin の Joke のような本当の言葉です。obituary page に自分の名前があったら、そのまま寝てしまうつもりようです（安らかに眠れるでしょう）。

\* Do not use a lightning rod for catching an .....

これはジョークです。ブランクには electric eel が入ります。

\* A lawyer and an engineer were fishing in the Caribbean. The lawyer said, "I'm here because my house burned down, and everything I owned was destroyed by the fire. The insurance company paid for everything."

"That's quite a coincidence," said the engineer. "I'm here because my house and all my belongings were destroyed by a flood, and my insurance company also paid for everything."

The puzzled lawyer asked, "How did you ..... the flood?"

保険のジョークです。空白部には start が入ります。

### その他のフランクリンの発明品



移動図書館



ロッキングチェア

[続く]

## ジョーク・コンテスト

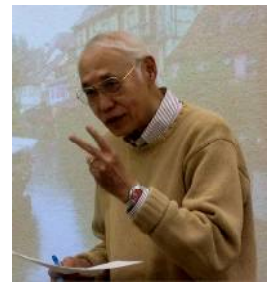
### THE BEST OF THE BESTS 選考会

## MCの記

安藤 雅彦

JCL 史上、コンテストは 30 回行われ、30 作品が優勝の榮譽に輝いた。これら 30 作品のなかのベストを投票で選ぶのが今回の企画。

ただ一コマ 50 分の時間的制約があるため、佐川プロデューサーが呻吟すること実に三昼夜、予め 30 を 20 に絞り込んだ。この一次選考の基準は、今後 5 年間、部外秘扱いとなる。だが一つだけ言えば、ごく最近の作品については、提出者が誰であるかが会員の記憶に新しいため除外してある。投票が政治的配慮あるいは不純な動機に影響される恐れがあるためである。



さて当日の選考の手順を追う。

#### ステップ 1

20 作品をパワーポイントで順次紹介。総務兼 CTO (Chief Technology Officer) の植田さんにはご苦勞をかけました。

#### ステップ 2

1 題ずつ質疑応答。「活発で刺激的やり取りで大いに盛り上がり有意義な土曜日の午後となった」と MC の予定原稿にはあった。が MC の腕が悪いせいとか全く盛り上がりません。MC としては、自分の口数を最小限にして、みなさんより話を引き出すのをモットーにしているが、全然引き出せずに、自分だけが喋っていた。面目ない。

女性会員より、エントリーナンバー3:

Girl: "Aren't the stars pretty tonight?"

Boy: "I'm in no position to say."

「Boyのセリフの意味は？」との唯一の貴重な質問があった。これはMCとの打ち合わせによるヤラセではありません。あまりに単調な展開なので、MCに助け船をだしたのかも。だが歯に衣着せずにズバリ答えるのが難しく、隔靴搔痒の感。影の声「家で父ちゃんに訊いてよ」(出題者名参照)

### ステップ3

投票は1回のみ。(結果の詳細は Joke Contest Supplement を参照)

優勝は6票で、エントリーナンバー19の村井さん(当日不参加)。

寝転ぶ女性の「私的部分」をカバーしているのは既に木から離れた葉っぱであり、仮に今は新鮮な葉っぱとしても早晚枯れるはず。しかし枯れても、現在の位置にとどまるはずで、秋が来てもなんら嬉しいことは起きない。この安藤理論への反応は冷たかった。

2位は5票で、ナンバー5の相原さん。異形類音異義語で決めた、MCが一押し of 英語でしか通じない翻訳不能ジョークである。僕が自作で目指すのはこの手の作品。

3位は4票で、ナンバー1の服部さん、ナンバー11の小池さん、ナンバー15の佐藤さん(当日不参加)の3人が同点で並んだ。

ナンバー1と11は典型的な予想裏切り型。学生時代にコンパで歌った、打っちゃり節、「嫌がる女中を捕まえて、無理やりやらせる拭き掃除」的なもの(?)。15は同形同音の普通名詞と固有名詞を利用し巧い。

今回の20作品はすべて、解りやすく、笑いのツボがピンとくる。疑問がなく、debatable

でない。優秀な生徒だけのクラスのように、コンテストとしては面白味に欠けるきらいがあり、通常のコンテストのように玉石混交のほうが、会としては盛り上がりそうな気がする。

MCの力足らずを棚に上げて思った次第。今後のコンテストで優勝を狙うヒントにはなりそう。20作品のうち過半数の11作品は4人により提出され、JLCも上位集中の格差社会である。

## QUEEN OF JC & HER KNIGHTS



村井久美子 会員



小池 温 会員



相原悦夫 会員



深澤満穂 会員



服部陽一 会員

英語のジョーク  
超入門講座 第7回

Two-liners

豊田 一男



Two-liner は問いとそれに対する答えの普通 2 行からなるジョークです。問いに対する答えがまともではなくずれているところにおかしみがあります。郡司利男は『英語ユーモア講座』（創元社 1982）でこのジョークを「脱線問答」と呼んでいます。上手い名づけです。

“Can you play the piano?”

“I don’t know. I never tried.”

（「ピアノが弾けるかい」「分からない。弾いたことがないんです」）



“How old do you think I am?”

“You don’t look it!”

（「私はいくつだと思いますか」「そうは見えないね」）

“I have come here for the winter.”

“Well, you’ve come to the wrong place. There’s no winter here.”



（「冬を過ごしにここへ来たのです」「来るところを間違えたね。ここは冬がないんです」）

“Are you fishing?”

“No, just drowning worms.”

（「釣りしているのかい」「いや、ミミズを溺れさせてるのさ」）



“When did your parents marry?”

“A long time before I was born”

（「ご両親はいつ結婚したの」「僕が生まれるずっと前だよ」）

“Until I met you, life was just one big desert.”

“Is that why you dance like a camel!”

（「きみに会うまで人生は大きな砂漠でしかなかったよ」「だからあなたはラクダみたいに踊るのね」）



“My rich uncle owns a newspaper.”

“So what? A paper is only two cents.”

（「叔父は金持ちで新聞社を持っているぞ」「だから何だい。新聞なんてたったの 2 セントじゃないか」）

“Waiter, this soup tastes watery.”

“Wait till you taste our coffee.”

（「このスープは水っぽいね」「コーヒーを飲むまで待ってください」）

“Her engagement is still a secret.”

“Everybody tells me that.”

（「彼女の婚約はまだ秘密なんだ」「みんなそう言ってるよ」）



“Has the doctor you’re engaged to got any money?”

“He sure has. Did you think I was getting married for my health?”

（「きみが婚約しているお医者はお金があるのかい」「もちろんよ。私が健康のために結婚するとでも思ったの」）

A RIDDLE

Q: Which is heavier, a full moon or half moon?

A: A full moon is lighter. So a half moon must be heavier.



A was an archer, and shot at a frog,  
B was a butcher, and had a great dog,  
C was a captain, all covered with lace,  
D was a drummer, and had a red face,  
E was an esquire, with pride on his brow,  
F was a farmer, and followed the plough,  
G was a gamester, who had but ill luck,  
H was a hunter, and hunted a buck,  
I was an innkeeper, who loved to carouse,  
J was a joiner, and built up a house,  
K was a king, so mighty and grand,  
L was a lady, who had a white hand,  
M was a miser, and hoarded up gold,  
N was a nobleman, gallant and bold,  
O was an oyster wench, and went  
about town,  
P was a parson, and wore a black gown,  
Q was a queen, who was fond of gold flip,  
R was a robber, and wanted a whip,  
S was a sailor, who spent all he got,  
T was a tinker, and mended a pot,  
U was a usurer, a miserable elf,  
V was vintner, who drank all himself,  
W was a watchman, and guarded the door,  
X was expensive, and so became poor,  
Y was a youth, that did not love school,  
Z was a zany, a poor harmless fool.

(from *Mother Goose*)

## 第 56 回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：2016年7月16日(土)  
14:00~16:00
- 会場：日本近代文学館 (2階会議室)  
(東京都目黒区駒場 4-3-55、駒場公園内)  
電話：03-3468-4181
- 交通：京王井の頭線「駒場東大前」駅(渋谷  
駅から二つ目) 徒歩7分。
- プログラム  
司会=豊田一男 会員  
① 研究発表=小池温 会員  
「英国のクラブとジェントルマン」  
② 第32回ジョーク・コンテスト  
MC=三田弘美 会員
- 参加費：会員・非会員とも 1,000円
- 連絡先：  
[jlweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlweb-renraku@eigojoker.com)

## 第 32 回ジョーク・コンテスト出品募集

1. 語数は、30 WORDS を上限とします。
  2. 出題数はお一人一題までとします。
  3. 出品されるジョークは、自作のものである必要はありません。
  6. 結果は、*We, Jokers* No.56, Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
- 宛先：[jlweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlweb-renraku@eigojoker.com)
  - 締め切り：2016年7月3日(日)

## WE, JOKERS No.55

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日：2016年6月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

問合せ先：[jlweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlweb-renraku@eigojoker.com)

